

勤労者と地域コミュニティとの 関わりについてのアンケート調査

2010年3月
社団法人 京都勤労者学園

はじめに

阪神淡路大震災以後「地域力」が叫ばれるようになった。「地域力」とは、地域における生活上の諸問題の解決能力を総合して認識される概念であるとされている。京都勤労者学園は毎年京都府の援助を受けて、連合京都、京都総評をはじめとした府内労働組合の協力を得て傘下の労働者を対象に各種のアンケート調査を実施しているが、今回はこの「地域力」の担い手の一員でもある勤労者が、居住地でのあり様にどのような関心を持ち、関わっているか、又その意識はどのようなものであるか、という問題意識の下に意識調査を実施した。今回の調査ではこれまでにない3500枚近くもの回収（配布は5000枚）を得た。本冊子はその結果をまとめたものであるが、労働組合はもとより企業、行政などで広く活用されることが期待される。集計、分析、監修はNPO法人京都社会労働問題研究所の協力を得て行った。

調査の概要

1、調査対象

京都府内労働組合の組合員を対象とした。

2、調査時期

配布・2009年11月、回収・2010年1月、発行・2010年3月

3、調査方法

連合京都、京都総評の各傘下組合の組合員（5000人）に配布し、3467人分の回収を得た。特に連合京都では「個人情報管理」の観点から、対象組合員にアンケート用紙と共に回収封筒を配布し、封筒に回答用紙を入れて回収する方法によって従来にない回収率となった。

4、集計上の注意

表の表示にあたって、N・A（無回答）は省き、合計欄には含んだもので記載している。

目 次

アンケート結果についての要約	2
調査結果とその特徴について	3
1、回答者の属性	3
2、いつ頃から現在の居住地に住んでいるか	4
3、現在の居住地についてどう感じているか	6
4、地域との関わり合いについて	7
5、町内会との関わりについて	8
6、あなたや家族の方が現在関わっておられるもの	10
7、地域活動への参加をめぐって	12
8、居住する地域で充実させたい施設	14
9、特別設問―裁判員として依頼があったら？	15
勤労者と地域コミュニティとの関わりについてのアンケート調査	16

アンケート結果についての要約

- 1、京都勤労者学園が毎年実施しているアンケートであるが、回収率が非常に高い。アンケート調査にとって回収率の高さはその信頼性において大きな要素であり、各組合の担当者の皆様のご苦勞に敬意を表したい。
- 2、近年、地方自治体行政において「地域力」を高めるための施策がいろんな角度から模索されている。京都市では、一昨年11月に「地域コミュニティ活性化に関する懇話会」を立ち上げて検討が重ねられ、この度「提言」がまとめられた。「地域組織のことや地域活動の内容を住民にきちんと伝えよう」など32の提言が盛り込まれ、今後も新たな組織によって実践、点検、提言を重ねる、とのことである。京都府においても「地域力再生プロジェクト」を立ち上げ、地域力再生活動への支援に取り組んでいる。
- 3、今回のアンケート調査はこうした地域力を高めるためのいろいろな取り組みに呼応し得るので、日頃は企業社会の中で活躍されている勤労者が生活者の立場で地域の諸問題に目を向け、地域力向上の担い手の一員として企業とともに関わっていくキッカケになれば幸いである。
- 4、調査の結果は、地域や年代間、あるいは雇用形態や職業の違いによって多少の違いはあるものの、勤労者も地域の一員として活動の一翼を担っている姿が表れているように思われる。勤労者の約65%が「自分の代から」今の居住地に住み、「住み続けたい」という人は過半数を超える。そして、「自分、もしくは家族の者が地域の行事に参加している」人は4割を超え、「輪番のため仕方なく参加している」人も加えると6割の人が地域の行事に関わっている。「町内会の役に関わっている、もしくは関わったことがある」人は全体の3分の2を占める。ただ、地域の活動に参加する時間的余裕がない、というジレンマを多く抱えているようである。活動参加の障害として強く意識されている。
- 5、詳細な特徴の紹介は後述の分析に譲り特徴だけつまみだすと、年代間によって「地域」というものの位置づけは大きく違う。10代、20代では地域活動に「あまり参加しない」「一切しない」の合計が5割を超える。愛着も薄いようである。その地域で生まれ育ったものの、「幼馴染」という存在意識も希薄になっているように思われる。地域間によっても地域活動の参加意識や現状において少なからず違いがある。「親の代から」「祖父母の代から」の居住者の方が「自分の代から」の居住者より地域との関わり合いは強い。今後の課題としては、まずは「啓蒙」や「情報発信」が大事なようである。
- 6、家庭だけでなくその地域を含めた居住スペースは、現代の勤労者にとってどのような意味をもつものであろうか。生活スペースとしてとらえれば、「文化的な生活」空間であって良いはずで、地域コミュニティが広く豊かに構築されて良いはず。しかしながら、「今後関わりたい地域の活動」ではパワーが伝わってこない。そこには「疲れきった企業社会人」の姿がみえなくもない。地域コミュニティへの参加から形成まで含めた活動にはそれなりのエネルギーが要る。エネルギーの配分バランス、まさにワークライフバランスを意識した改革が地域力の活性化においても求められるのではなかろうか。

調査結果とその特徴について

1、回答者の属性

7割が男性で、男性では30代、女性では50代が最多

これまでにない回収率を（65.4%）確保していただきましたが、回答者の男女比率は従来の他のアンケート調査でのそれと変わりません（男性比率が7割）。年代別では男性が30代、40代、20代の順であるのに対して女性では50代が34.1%、40代が27.1%、30代が18.0%で、子育て世代の比率が低く、子育てを終えての再就職組が多いのではないかと思います。女性の場合、非正規就業者の比率が高い（58.9%）ことからそのことが窺えます。全体では非正規社員の比率が20.3%と労働者全体の就業構造調査によるものとは低くなっていますが、女性の中では6割弱を占め、「世間並み」水準にあります。

表-1 男女別年代構成

	男 性		女 性		NA	合 計	
	人	%	人	%	人	人	%
10代	28	1.2	9	0.9	2	39	1.1
20代	413	17.2	107	11.1	3	523	15.1
30代	855	35.7	174	18.0	15	1044	30.1
40代	624	26.0	261	27.1	18	903	26.0
50代	406	16.9	329	34.1	35	770	22.2
60以上	71	3.0	83	8.6	9	163	4.7
NA			1		24	25	
	2397	100.0	964	100.0	106	3467	100.0

表-2 男女別雇用形態

	男 性		女 性		NA	合 計	
	人	%	人	%	人	人	%
正規社員	2240	93.5	373	38.7	49	2662	76.8
非正規	115	4.8	568	58.9	20	703	20.3
NA	42		23		37	102	
合計	2397		964		106	3467	

製造業従事者がトップ

業種別の構成では、製造業32.6%、運輸・通信業17.6%、公務15.0%、サービス業13.9%の順ですが、京都府内全体の就業構造とは少し異なっています。ちなみに京都府内労働者の就業構造調査（平成19年度）ではサービス業29.8%、卸・小売・飲食25.9%、製造業17.8%、運輸・通信業6.4%、建設業7.2%、公務3.3%となっています。職業を年代別、性別にみても、公務員では30～40代が多く、製造業、運輸・通信業では20代、30代の割合が多いものになっています。また、製造業、運輸・通信業で男性比率が87.8%、86.4%と高く、卸・小売業、福祉・医療、サービス業では女性比率が各々88.2%、73.7%、60.7%と高いものとなっています。女性では50代が最も

多いが、その多くがサービス業、卸・小売業です。合わせて61.4%を占めます。

表-3 性別・年代別・職業の構成

	男 性						女 性						合計
	10代	20代	30代	40代	50代	60～	10代	20代	30代	40代	50代	60～	
公務員	0	46	120	103	93	15	1	24	33	50	19	5	521
製造業	9	188	410	276	101	9	0	29	47	33	15	0	1131
卸・小売業	0	3	4	3	4	0	0	3	8	30	74	12	144
運輸・通信業	16	89	152	125	112	31	5	18	19	15	10	1	610
サービス業	1	27	61	45	38	3	2	13	33	75	128	41	481
福祉・医療	0	5	1	1	2	0	0	8	8	6	6	0	38
その他	2	50	94	59	44	14	1	9	20	39	53	10	404
合計	28	413	855	624	408	71	9	107	174	261	329	83	

京都府内居住者が75%超

回答者の居住地構成では京都市内が44.9%を占めます。京都市内でも古くからの町もあれば比較的新しい町もありますが行政区単位までは細分化出来ていませんので平均化された傾向として理解するほかありません。以下表4の通りです。京都府内合計では75.6%で、4分の3を占めます。居住地における年代別の違いは余りありませんが、60代以上の人では宇治やその他の府下市町村居住者の比率が相対的には高いとか、若年者層では京都市内や大阪府居住者の比率が高く、亀岡市や滋賀県、兵庫県では低いなどの特徴があります。

表-4 年代別居住地一覧

	10代	20代	30代	40代	50代	60～	NA	全体
京都市	19	268	443	402	346	78	1	1557
宇治市	0	25	59	71	48	20	0	223
城陽市	1	15	30	16	22	8	0	92
向日市	3	9	22	17	17	5	0	73
長岡京	4	23	28	36	28	4	0	123
亀岡市	2	9	32	30	23	3	1	100
京都府内	2	59	147	103	121	21	0	453
大阪府	2	53	113	63	21	5	0	257
滋賀県	1	21	88	77	70	3	1	261
兵庫県	0	10	16	23	24	2	0	75
その他	2	10	12	15	13	6	0	58
NA	3	21	54	50	37	8	22	195
合計	39	523	1044	903	770	163	25	3467

2、いつ頃から現在の居住地に住んでいるか

「自分の代から」が64.6%

「現在の居住地に住んだのはいつ頃からか」との設問では、「自分の代から」という人が圧倒的で64.6%を占めます。10代、20代では「親の代から」が43.6%、26.4%と、一定の割合を占めますが、「自分の代から」が5割前後あります。「祖父母の代から」は60代以上を除けば一割前後で大きな差はありません。地域別にみると、「自分の代から」が比較的多いのは宇治市（77.1%）、

長岡京市（75.6%）、向日市（71.2%）で、50代男性で比較的高いものとなっています。「親の代から」が相対的に多いのは城陽市（31.5%）兵庫県（25.3%）、大阪府（23.3%）で、兵庫県からの通勤者では「祖父母の代から」（34.7%）が他の地域と比べて特別に多いものとなっています。他府県からの通勤者では「親の代から」「祖父母の代から」が比較的高い比率を占めています。

表-5 現在の居住地に住んだのは？（年代別）

	自分の代		親の代から		祖父母の代		その他	
	人	%	人	%	人	%	人	%
10代	18	46.2	17	43.6	4	10.3	0	
20代	297	56.8	138	26.4	59	11.3	28	5.4
30代	695	66.6	205	19.6	98	9.4	39	3.7
40代	586	64.5	165	18.3	103	11.4	41	4.5
50代	518	67.3	114	14.8	93	12.1	35	4.5
60代～	109	66.9	31	19.0	10	6.1	12	7.4
合計	2240	64.6	673	19.4	372	10.7	155	4.5

表-6 現在の居住地に住んだのは？（地域別）

	自分の代		親の代から		祖父母の代		その他		合 計
	人	%	人	%	人	%	人	%	
京都市	1007	64.7	292	18.8	165	10.6	83	0.5	1557
宇治市	172	77.1	36	16.1	2	0.9	12	5.4	223
城陽市	59	64.1	29	31.5	2	2.2	1	1.1	92
向日市	52	71.2	16	21.9	4	5.5	1		73
長岡京	93	75.6	19	15.4	5	4.1	5	4.1	123
亀岡市	65	65.0	20	20.0	10	10.0	4	4.0	100
京都府内	284	62.7	66	14.6	73	16.1	24	5.3	453
大阪府	165	64.2	60	23.3	25	9.7	7	2.7	257
滋賀県	164	62.8	58	22.2	31	11.9	5	1.9	261
兵庫県	29	38.7	19	25.3	26	34.7	1		75
その他	30	51.7	10	17.2	12	20.7	6		58
合計	2240	64.6	673	19.4	372	10.7	155	4.5	3467

同居している方は

「同居している方は」では、「なし」、つまり一人住まいの方が536人（15.5%）で、特に20代男性では41.2%にのぼります。同居の中で、「配偶者」は66.4%で、「子供」は53.1%です。「親」との同居は23.4%で、10代、20代で高い比率になりますが、50代男性でも25.1%と4人に1人にのぼります。

表-7 同居している方は（性別、年代別）

	男 性						女 性						(人数)	
	10代	20代	30代	40代	50代	60～	10代	20代	30代	40代	50代	60～	人	%
なし	12	170	146	47	26	5	3	41	30	16	20	8	536	15.5
配偶者	1	92	564	514	343	57	0	11	97	207	268	68	2303	66.4
子供	0	44	425	444	265	37	0	4	88	206	223	45	1840	53.1
孫	0	0	1	2	6	6	0	0	0	0	10	6	32	0.9
親	13	137	167	140	102	11	5	53	50	59	49	5	813	23.4
祖父母	4	21	16	11	9	3	3	9	10	6	4	0	102	2.9
兄弟姉妹	8	72	38	16	6	1	2	26	13	8	2	0	197	5.7
その他	1	12	12	6	5	1	1	2	3	1	4	1	48	1.4

3、現在の居住地についてどう感じているか

「祖父母の代から」の人に多い「住み続けたい」

「現在の居住地に住み続けたい」という人は5割を超えて52.6%ですが、若年者では過半数を割り込み、10代、20代、30代とそれぞれ28.2%、34.6%、49.4%となっています。転勤や結婚という事情によって「どうなるかわからない」ということではないかと思われます。高齢者になるほど「住み続けたい」の割合は高くなり、60代以上では65%に及びます。「近辺で他の住宅に移りたい」というのは住宅事情によるものと思われますが、若年者で一定の比率を占めています。

地域別にみると、「住み続けたい」が高い地域は兵庫県（68.0%）、滋賀県（63.2%）、城陽市（57.6%）、その他の府内（56.7%）、宇治市（55.6%）で、それ以外は京都市も含めて過半数割れの状況です。兵庫県、滋賀県をはじめ、「住み続けたい」が高いのは「先祖代々からの土地」ということではないかと思われます。

ちなみに、問1での「いつ頃から住んでいるか」で「祖父母の代から」とする372人をクロスして見てみると、「住み続けたい」は245人、65.9%にのぼります。「親の代から」では58.7%となっています。

表-8 現在の居住地についてどう感じているか（年代別）

	住み続けたい		近辺で移転		他の地域に		わからない		その他		合計 人
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	
10代	11	28.2	5	12.8	6	15.4	16	41.0	1		39
20代	181	34.6	86	16.4	58	11.1	191	36.5	8		523
30代	516	49.4	124	11.9	111	10.6	284	27.2	11		1044
40代	508	56.3	75	8.3	59	6.5	251	27.8	12		903
50代	489	63.5	42	5.5	66	8.6	169	21.9	10		770
60代～	106	65.0	7	4.3	10	6.1	39	23.9	0		163
合計	1825	52.6	341	9.8	314	9.1	954	27.5	44		

表-9 現在の居住地についてどう感じているか（地域別）

	住み続けたい		近辺で移転		他の地域に		わからない		その他		合計 人
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	
京都市	776	49.8	187	12.0	152	9.8	434	27.9	16	1	1557
宇治市	124	55.6	17	7.6	12	5.4	67	30.0	5		223
城陽市	53	57.6	6	6.5	8	8.7	25	27.2	0		92
向日市	35	47.9	8	11.0	6	8.2	24	32.9	0		73
長岡京	56	45.5	13	10.6	8	6.5	45	36.6	1		123
亀岡市	42	42.0	10	10.0	9	9.0	37	37.0	2		100
京都府内	257	56.7	36	7.9	46	10.2	107	23.6	8		453
大阪府	133	51.8	22	8.6	22	8.6	78	30.4	2		257
滋賀県	165	63.2	17	6.5	19	7.3	58	22.2	2		261
兵庫県	51	68.0	3	4.0	5	6.7	15	20.0	1		75
その他	27		4		2		21		3		58
合計	1825	52.6	341	9.8	314	9.1	954	27.5	44	1.3	

「移りたい」理由は「住宅事情」

問4で前問の②、③、「移りたい」とした655人にその理由を訊ねていますが、「住宅事情」をあげた人が349人で53.3%を占めます。「移りたい他の地域がある」とした人は223人で34.0%、「独立したい」は68人、10.2%、「現在の地域が苦痛」は7.9%に止まっています。

表-10 転居したい理由は？

	住宅事情		移りたい地有		現在の地苦痛		独立したい		その他		合計 人
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	
10代	3		4		1		8		1		17
20代	63		44		8		28		18		161
30代	125		81		12		30		18		266
40代	84		41		20		0		23		168
50代	56		41		10		1		16		124
60代～	14		10		1		0		2		27
合計	349	53.3	223	34.0	52	7.9	68	10.2	78	11.9	

4、地域との関わり合いについて

地域の行事への「参加」は6割

地域との関わり合いについて、「できるだけ（積極的に）地域の行事に参加している」は28.0%で、「自分は参加できないが家族の者が参加している」が12.9%、「輪番のため仕方なく参加している」が19.2%で、「参加している」の合計は60.1%にのぼり、それなりに地域に関わっている様子が窺えます。一方、「あまり参加しない」は25.7%で、「一切参加しない」が11.9%と合わせて37.6%に達します。これを年代別にみると、10代、20代では「参加する」は低く、「仕方なく参加」も含めてそれぞれ43.6%（10代）、32.3%（20代）にとどまり、「参加しない」が半数を上回っています。40代以上の年代では「できるだけ参加」の積極派は3人に1人の割合ですが、「家族が参加」「仕方なく参加」を合わせると、40代が69.4%、50代が72.4%、60代が68.7%となっています。

地域別にみると、「できるだけ参加」が多いのは兵庫県（48.0%）、その他の府内（39.7%）、次いで滋賀県（34.9%）、亀岡市（34.0%）です。逆に「参加しない」の合計が4割を超えるのは京都市（41.9%）の他、長岡京市（47.2%）、大阪府（47.5%）などです。現在の居住地に「住み続けたい」とする人の割合が高い地域では地域との関わり合いについても「参加する」人の割合が高いということがみてとれます。性別による特徴では、男性では「できるだけ参加する」が最も多く29.6%で、「家族が参加」「仕方なく」も含めた「参加」は61.0%で、女性では「あまり参加しない」が一番多く30.6%を占め、「参加しない」合計が4割を超えています。

表-11 地域との関わり合いについて（地域別）

	行事に参加		家族が参加		仕方なく参加		あまりしない		一切しない		その他		合計
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	
京都市	366	23.5	193	12.4	311	20.0	414	26.6	238	15.3	26	1.7	1557
宇治市	66	29.6	26	11.7	42	18.8	68	30.5	14	6.3	4	1.8	223
城陽市	23	25.0	16	17.4	19	20.7	22	23.9	8	8.7	2	2.1	92
向日市	24	32.9	8	11.0	12	16.4	23	31.5	4	5.5	1		73
長岡京	29	23.6	14	11.4	20	16.3	37	30.1	21	17.1	2	1.6	123
亀岡市	34	34.0	17	17.0	27	27.0	15	15.0	8	8.0	1		100
京都府内	180	39.7	48	10.6	83	18.3	104	23.0	33	7.3	5	1.1	453
大阪府	47	18.3	39	15.2	39	15.2	84	32.7	38	14.8	7	2.7	257
滋賀県	91	34.9	36	13.8	57	21.8	51	19.5	19	7.3	5	1.9	261
兵庫県	36	48.0	11	14.7	9	12.0	15	20.0	2	2.7	2	2.7	75
その他	16	27.6	16	27.6	8	13.8	9	15.5	7	12.1	1		58
全体	972	28.0	448	12.9	665	19.2	890	25.7	411	11.9	59	1.7	

表-12 地域との関わり合いについて（年代別）

	行事に参加		家族が参加		仕方なく		あまりしない		一切しない		その他		合計
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	
10代	4	10.3	12	30.8	1	2.6	10	25.6	11	28.2	1		39
20代	66	12.6	66	12.6	37	7.1	182	34.8	159	30.4	8		523
30代	274	26.2	146	14.0	165	15.8	286	27.4	147	14.1	16		1044
40代	305	33.8	118	13.1	203	22.5	205	22.7	58	6.4	14		903
50代	257	33.4	90	11.7	210	27.3	163	21.2	30	3.9	16		770
60代～	55	33.7	16	9.8	41	25.2	40	24.5	4	2.5	4		163
全体	972	28.0	448	12.9	665	19.2	890	25.7	411	11.9	59		

表-13 地域との関わり合いについて（男女別）

	男 性		女 性		NA		合 計	
	人	%	人	%	人		人	%
行事に参加	709	29.6	226	23.4	37		972	28.0
家族が参加	329	13.7	105	10.9	14		448	12.9
仕方なく参加	424	17.7	216	22.4	25		665	19.2
余り参加しなし	573	23.9	295	30.6	22		890	25.7
一切しない	312	13.0	92	9.5	7		411	11.9
その他	36	1.5	22	2.3	1		59	1.7
NA	14		8		0		22	
全体	2397		964		106		3467	

5、町内会との関わりについて

町内会で「役している」は3分の2に

町内会（管理組合・自治会含む）との関わりについて聞いたところ、「町内会に入り自分が役をしている・したことがある」と答えた人は1512人にのぼり、43.6%を占めます。「家族の者が役をしている・したことがある」は22.7%で、合わせると66.3%もの人が何らかの形で町内会の役もしていることになります。一方、「町内会に入っていない」（14.3%）、「町内会がない」（5.7%）は合わせて20%ですが、10代、20代では各々35.9%、45.5%を占めます。年代が高くなるにつれて「役もしている」が多くなり、「入っていない」「町内会がない」は少なくなり、50代、

60代では「自分が役もしている」が69.7%、71.8%を占め、「家族が役をしている」を含めると87.0%、88.4%に達しています。

これを地域別にみると、「自分が役もしている」が比較的高いのは、亀岡市（60.0%）、宇治市（55.2%）、滋賀県（55.2%）などで、「家族が役をしている」を合わせると、亀岡市（82.0%）、宇治市（75.8%）、城陽市（77.1%）、滋賀県（72.8%）、などとなっています。一方、「入っていない」では長岡京市（23.6%）、大阪府（21.0%）、京都市（17.5%）が平均より高いものとなっています。年代分布の差異による影響もあると思われますが、「町内会がない」が大阪府で9.7%、兵庫県6.7%、長岡京市8.1%と一定割合あるのも気にかかることです。問3で「現在の居住地に住み続けたい」とする人では「自分が役をしている」が50.6%、「家族が役をしている」が24.6%で、合わせると75%にのぼり、地域に定着している姿が感じられます。

ちなみに職業との関係をもてみると、女性比率の高い卸・小売業やサービス業に働く人では「自分が役もしている」が71.5%（卸・小売）、59.0%（サービス業）と高い比率を占め、「役は断る」「入っていない」の合計の比率が高いのは福祉・医療で39.5%（各々21.1%、18.4%）、製造業28.3%、運輸・通信業27.6%となっています。公務員では「家族が役をしている」（25.0%）や「役は断る」（12.3%）、「入っていない」（12.9%）と町内会との関わりについては消極的にみえます。

表-14 町内会との関わり合いについて（地域別）

	役もしている		家族が役を		役は断る		入っていない		町内会ない		その他		合計
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	
京都市	639	41.0	355	22.8	141	9.1	272	17.5	91	5.8	61	3.9	1557
宇治市	123	55.2	46	20.6	19	8.5	21	9.4	14	6.3	2	0.9	223
城陽市	44	47.8	27	29.3	11	12.0	6	6.5	1	1.1	2	2.2	92
向日市	30	41.1	19	26.0	6	8.2	8	11.0	2	2.7	7	9.6	73
長岡京	46	37.4	25	20.3	13	10.6	29	23.6	10	8.1	2	1.6	123
亀岡市	60	60.0	22	22.0	8	8.0	7	7.0	2	2.0	3	3.0	100
京都府内	213	47.0	106	23.4	45	9.9	45	9.9	25	5.5	19	4.2	453
大阪府	66	25.7	68	26.5	33	12.8	54	21.0	25	9.7	13	5.1	257
滋賀県	144	55.2	46	17.6	29	11.1	18	6.9	10	3.8	14	5.4	261
兵庫県	30	40.0	19	25.3	12	16.0	7	9.3	5	6.7	2	2.7	75
その他	22	37.9	16	27.6	7	12.1	8	13.8	1	1.7	4	6.9	58
合計	1512	43.6	787	22.7	347	10.0	496	14.3	196	5.7	136	3.9	

表-15 町内会との関わり合いについて（年代別）

	役もしている		家族が役を		役は断る		入っていない		町内会ない		その他		合計
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	
10代	3	7.7	16	41	4	10.3	11	28.2	3	7.7	2	5.1	39
20代	37	7.1	141	27	69	13.2	174	33.3	64	12.2	33	6.3	523
30代	301	28.8	259	24.8	152	14.6	188	18	77	7.4	60	5.7	1044
40代	502	55.6	207	22.9	65	7.2	76	8.4	31	3.4	27	3	903
50代	537	69.7	133	17.3	41	5.3	40	5.2	19	2.5	12	1.6	770
60代～	117	71.8	27	16.6	15	9.2	4	2.4	1	0.6	1	0.6	163
合計	1512	43.6	787	22.7	347	10.0	496	14.3	196	5.7	136	3.9	

表-16 町内会との関わりについて（問3とのクロス）

	(人数)						合計
	役もしている	家族が役を	役は断る	入っていない	町内会ない	その他	
住み続けたい	924	450	175	147	74	59	1825
近辺に	103	76	33	83	32	11	341
他地域に	118	73	37	65	16	7	314
わからない	357	181	100	196	72	53	954
その他	17	8	3	7	3	6	44
合計	1512	787	347	496	196	136	

表-17 町内会との関わりについて（職業別）

	役もしている		家族が役を		役は断る		入っていない		町内会ない		その他		合計
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	
公務員	209	40.1	130	25.0	64	12.3	67	12.9	25	4.8	23	4.4	521
製造業	389	34.4	278	24.6	100	8.8	221	19.5	89	7.9	54	4.8	1131
卸・小売業	103	71.5	23	16.0	9	6.3	10	6.9	4	2.8	3	2.1	144
運輸・通信業	253	41.5	150	24.6	95	15.6	73	12.0	20	3.3	16	2.6	610
サービス業	284	59.0	95	19.8	22	4.6	55	11.4	18	3.7	9	1.9	481
福祉・医療	10	26.3	8	21.1	8	21.1	7	18.4	3	7.9	2	5.3	38
合計	1512	43.6	787	22.7	347	10.0	496	14.3	196	5.7	136	3.9	

6、あなたや家族の方が現在関わっておられるもの

「関わり」多いのは「町内会年中行事」

「あなた、及び家族の方が現在関わっておられるもの」を聞いたところ、「町内会年中行事」が最も多く47.3%で、次いで「保育園・学校の保護者会参加」（18.6%）、「サークル活動」（10.4%）、「体育振興会」（9.9%）と続いています。どの地域も「年中行事」への関わりが最も多いのですが、中でも滋賀県（60.2%）、兵庫県（57.3%）、亀岡市（56.0%）、城陽市（60.9%）では5割を超えていますが、長岡京市（35.0%）、大阪府（37.7%）では3割台に止まっています。表-18で、回答者一人当たりの関わり件数がわかりますが、兵庫県1.613、城陽市1.402、滋賀県1.395、亀岡市1.35なのに対して京都市では1.016、長岡京市では0.951に止まっています。ここでも「親の代から」「祖父母の代から」住んでいる人の比率が高い地域では地域の活動への関わりも多いということがみてとれます。

表-18 あなたや家族の方が関わっているもの（地域別）

	(人数)										合計
	町内会 行事	消防 活動	老人会	女性 会	保護者 活動	体育 振興	サーク ル活動	ボラン ティア	モニ ター	その他	
京都市	682	68	43	36	247	185	116	72	20	113	1582
宇治市	120	12	1	4	48	27	24	11	3	17	267
城陽市	56	4	5	1	15	8	17	9	3	11	129
向日市	33	4	2	2	15	10	10	8	3	7	94
長岡京	43	6	3	2	17	13	17	9	1	6	117
亀岡市	56	10	3	3	22	15	9	5	3	9	135
京都府内	228	39	34	26	86	20	84	49	5	23	594
大阪府	97	17	10	9	56	3	22	19	5	27	265
滋賀県	157	18	16	7	58	28	29	29	5	17	364
兵庫県	43	8	10	9	20	4	11	9	3	4	121
その他	30	7	6	1	15	5	7	5	0	2	78
合計	1641	219	144	114	644	342	362	239	57	248	4010
%	47.3	6.3	4.2	3.3	18.6	9.9	10.4	6.9	1.6	7.2	

今後関わりたいものは「スポーツ・趣味のサークル」

「あなたが今後関わりたいもの」では、おしなべて「現在関わっているもの」より少ないものとなっています。「現状」より「希望」が増えているものは、「スポーツ・趣味のサークル」だけです。逆に「わからない」（20.9%）、「関わりたいと思わない」（15.1%）など地域活動への関わり意欲は消極的にみえます。「できるだけ地域の行事に参加している」「町内会の役もしている」という人の割合が高い50代、60代でも地域活動への関わり意欲は低いと言えます。全体に共通することですが、自分の癒しにつながる「スポーツやサークル活動」への関わりを好むという傾向が見受けられます。勤務先の労働で精神的肉体的疲労が強く、地域に帰ってまで気を使いたくない、ということではないでしょうか。あるいは既成のものに魅力が欠けているからでしょうか。

表-19 地域の活動で今後関わりたいもの（年代別）

	10代		20代		30代		40代		50代		60代～		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
町内会行事	5	12.8	61	11.7	168	16.1	184	20.4	165	21.4	53	32.5	642	18.5
消防活動	1		19		43		37		23		1		128	3.6
老人会	2		2		10		6		11		15		47	1.4
女性会	1		3		8		9		16		6		44	1.3
保護者会活動	3		19		117	11.2	76	8.4	17		3		239	6.9
サークルなど	7	17.9	134	25.6	251	24.0	231	25.6	196	25.5	41	25.2	864	24.9
ボランティア	0		35		71		91		101		20		320	9.2
地域イベント	3		58		114		114		107		22	13.5	423	12.2
モニター、委員	0		5		19		23		26		6		81	2.3
わからない	9	23.1	148	28.3	246	23.6	177	19.6	123	16.0	21	12.9	725	20.9
関わりたくない	7	17.9	88	16.8	153	14.7	131	14.5	129	16.8	12	7.4	523	15.1
その他	1		9		38		28		17		1		94	2.7

表-20 地域の活動で今後関わりたいものは（職業別）

	公務員		製造業		卸・小売		運輸・通信		サービス		福祉・医療		その他	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
町内会行事	97	18.6	179	15.8	35	24.3	125	20.5	96	20.0	5	13.2	81	20.0
消防活動	15	2.9	33	2.9	6	4.2	38	6.2	14	2.9	1		15	3.7
老人会	5	1.0	3	0.3	5	3.5	20	3.3	6	1.2	0		6	1.5
女性会	4	0.8	6	0.5	7	4.9	9	1.5	6	1.2	1		8	2.0
保護者会活動	36	6.9	83	7.3	5	3.5	38	6.2	30	6.2	4	10.5	33	8.2
サークルなど	109	20.9	310	27.4	44	30.6	133	21.8	125	26.0	8	15.8	103	25.5
ボランティア	24	4.6	115	10.1	16	11.1	60	9.8	43	8.9	14	36.8	45	11.1
地域イベント	62	11.9	140	12.4	10	6.9	82	13.4	43	8.9	2	5.3	62	15.3
モニター、委員	9	1.7	26	2.3	5	3.5	21	3.4	7	1.5	0		8	2.0
わからない	108	20.7	261	23.1	19	13.2	116	19.0	100	20.8	11	28.9	86	21.3
関わりたくない	88	16.9	163	14.4	28	19.4	85	13.9	74	15.4	7	18.4	58	14.4
その他	11	2.1	36	3.2	4	2.8	16	2.6	9	1.9	0		15	3.7

7、地域の活動への参加をめぐって

参加する上で障害になっていることは「時間がとれない」

地域の活動に参加する上で障害になっていることを聞くと、「活動参加の時間を確保しにくい」が55.4%を占めます。「活動参加の休暇がとれない」（16.3%）を合わせると71.7%の人が時間的制約をあげています。特に、公務員では「時間を確保しにくい」（60.3%）、「休暇取れない」（15.9%）で、卸・小売業で各々59.0%、16.7%、運輸・通信業で51.5%、24.8%と高く、時間的余裕のなさが地域活動への意欲を削いでいると言えます。「情報が少ない」（18.7%）ということも障害になっているとみられます。

表-21 地域の活動に参加する上での障害（職業別）

	公務員		製造業		卸・小売		運輸・通信		サービス		福祉・医療		その他		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
時間確保	314	60.3	623	55.1	85	59.0	314	51.5	275	57.2	15	39.5	226	55.9	1922	55.4
休暇取れない	83	15.9	156	13.9	24	16.7	151	24.8	69	14.3	11	28.9	43	11.9	564	16.3
人間関係	27	5.2	47	4.2	4	2.8	43	8.0	17	3.5	5	13.2	17	4.2	170	4.9
情報少ない	88	16.9	259	22.9	19	13.2	102	16.7	68	14.1	10	26.3	77	19.1	647	18.7
その他	23	4.4	68	6.0	6	4.2	26	4.3	22	4.6	3	7.9	29	7.2	183	5.3

地域の活動に参加する上で必要と思う点

地域活動に参加する上で必要と思う点を聞いたところ、「地域活動参加の啓蒙・促進」をあげる人が最も多く39.7%に及びますが、この回答からは「誰に」「啓蒙活動を求めているのか」は読み取ることが出来ません。「活動情報や内容の周知徹底」も30.6%と3割あります。設問の関係もありますが、地域の担い手でありながら全て受身での選択肢になっており、地域活動を組織する側からの問いかけも欲しかったように思います。その点では「企業における地域活動休暇やボランティア休暇」をあげる人が30.1%と3割を超え、企業の社会的貢献を促していることは注目されているのではないかと思います。特に20代、30代で高い比率になっていることも注目されます。

表-22 地域の活動に参加する上で必要な点（年代別）

	10代		20代		30代		40代		50代		60代～		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
参加の啓蒙	9	23.1	192	36.7	437	39.0	398	44.1	291	37.8	87	41.1	1376	39.7
地域活動休暇	9	23.1	169	32.3	368	35.2	278	30.8	197	25.6	19	11.7	1044	30.1
個人情報管理	6	15.4	60	11.5	102	9.8	101	11.2	96	12.5	24	14.7	393	11.3
情報の周知	12	30.8	199	38.0	357	34.2	297	32.9	241	31.3	51	31.3	1061	30.6
その他	2	5.1	14	2.7	38	3.6	37	4.1	26	3.4	5	3.1	123	3.7

地域の情報についての入手方法

地域の情報の入手方法については、「回覧板」が圧倒的です。どの地域でも「回覧板」は情報入手の一番手ようです。それでも地域間でそれぞれ特徴があるようです。「回覧板」が活躍している地域としては滋賀県（81.2%）、城陽市（82.6%）、亀岡市（82.0%）などで、地域の活動への参加が強い地域で共通しています。逆に大阪府（58.0%）、長岡京市（58.5%）でその割合の低さが目に付きます。亀岡市やその他の京都府内では「ロコミ」による情報入手の比率も高く、地域のコミュニケーションに若干の違いを感じさせます。行政が発行する便りや新聞についても情報入手手段として活用されているようですが、3割から4割に止まっています。年齢別にみると、「回覧板」が情報入手手段になっている年代は高齢者ほど高くなり、50代、60代では8割を超えます。

表-23 地域の情報の入手方法（地域別）

	回覧板		行政の通信		新聞・雑誌		インターネット		チラシ・ポスタ		ロコミ		その他	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
京都市	1039	66.7	518	33.3	164	10.5	94	6.0	357	22.9	383	24.6	32	2.1
宇治市	166	74.4	81	36.3	28	12.6	16	7.2	42	18.8	67	30.0	1	
城陽市	78	82.6	35	38.0	14	15.2	3	3.3	15	16.3	19	20.7	1	
向日市	51	69.9	29	39.7	10	13.7	4	5.5	15	20.5	14	19.2	1	
長岡京	72	58.5	52	42.3	18	14.6	9	7.3	28	22.8	26	21.1	1	
亀岡市	82	82.0	39	39.0	9	9.0	6	6.0	13	13.0	34	34.0	2	
京都府内	351	77.5	191	42.2	57	12.6	18	4.0	84	18.5	150	33.1	7	1.5
大阪府	149	58.0	98	38.1	23	8.9	28	10.9	65	25.3	60	23.3	3	1.2
滋賀県	212	81.2	105	40.2	18	6.9	14	5.4	33	12.6	61	23.4	6	2.3
兵庫県	56	74.7	32	42.7	9	12.0	2	2.7	15	20.0	20	26.7	1	1.3
その他	39		18		5		4		10		11		2	
合計	2451	70.7	1240	35.8	369	10.6	209	6.3	697	20.1	883	25.5	59	1.7

表-24 地域の情報の入手方法（年代別）

	回覧板		行政の通信		新聞・雑誌		インターネット		チラシ・ポスタ		ロコミ		その他	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
10代	16	41.0	9	23.1	5	12.8	1	2.6	8	20.5	8	20.5	2	
20代	244	46.7	137	26.2	44	8.4	40	7.6	121	23.1	90	17.2	17	
30代	685	65.6	347	33.2	104	10.0	70	6.7	223	21.4	267	25.6	16	
40代	704	78.0	353	39.1	100	11.1	60	6.6	155	17.2	271	30.0	16	
50代	640	83.1	326	42.3	89	11.6	31	4.0	150	19.5	204	26.5	6	
60代～	141	86.5	61	37.4	25	15.3	7	4.3	36	22.1	37	22.7	1	
合計	2451	70.7	1240	35.8	369	10.6	209	6.0	697	20.1	883	25.5	59	1.7

8、居住する地域で充実させたい施設

居住する地域で今後充実させたい施設を聞いたところ、「病院・専門医院」をあげる人が最も多く、地域間の差異はあるもののどの年代にも共通する要求となっています。「病院・専門医院」の要求の高い地域としては、兵庫県（52.0%）、亀岡市（50.0%）、その他京都府内（45.9%）、城陽市（44.6%）などで、大阪府や京都市では相対的には低いものとなっています。次いで高い要求のある施設は「図書館やスポーツ施設」で、この要求の方が「病院」より高い地域は京都市（31.9%）、大阪府（35.8%）です。「保育園」は30代を中心に子育て世代で高く、「介護施設・老人ホーム」は50代（29.1%）、60代（34.3%）で高い要求となっています。保育園や老人ホームより要求が強いのが「憩いの場所（集会所・公園）」で、21.3%に及びます。

表-25 居住する地域で充実させたい施設（地域別）

	病院・専門医		保育園・		介護・ホーム		障害者施設		憩いの場所		スポ文化施設		その他	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
京都市	458	29.4	249	16.0	224	14.4	45	2.9	361	23.2	496	31.9	67	4.3
宇治市	71	31.8	45	20.2	39	17.5	6	2.7	41	18.4	67	30.0	7	3.1
城陽市	41	44.6	13	14.1	13	14.1	4	4.3	15	16.3	15	16.3	6	6.5
向日市	28	38.4	9	12.3	15	20.5	4	5.5	15	20.5	17	23.3	4	5.5
長岡京	50	40.7	20	16.3	23	18.7	4	3.3	24	19.5	32	26.0	4	3.3
亀岡市	50	50.0	15	15.0	19	19.0	5	5.0	23	23.0	21	21.0	2	2.0
京都府内	208	45.9	76	16.8	74	16.3	15	3.3	80	17.7	125	27.6	23	5.1
大阪府	75	29.2	51	19.8	28	10.9	5	1.9	60	23.3	92	35.8	10	3.9
滋賀県	102	39.1	56	21.5	40	15.3	13	5.0	50	19.2	69	26.4	9	3.4
兵庫県	39	52.0	10	13.3	22	29.3	3	4.0	15	20.0	15	20.0	1	1.3
その他	23	39.7	12	20.7	9	15.5	0		10	17.2	24	41.4	4	
合計	1218	35.1	588	17.0	549	15.8	109	3.1	740	21.3	1017	29.3	141	4.1

表-26 居住する地域で充実させたい施設（年代別）

	病院・専門医		保育園・		介護・ホーム		障害者施設		憩いの場所		スポ文化施設		その他	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
10代	14	35.9	2	5.1	6	15.4	1	2.6	7	17.9	15	38.5	1	
20代	146	27.9	76	14.5	34	6.5	14	2.7	104	19.9	228	43.6	27	5.2
30代	382	36.6	291	27.9	76	7.3	22	2.1	235	22.5	311	29.8	46	4.4
40代	329	36.4	138	15.3	149	16.5	26	2.9	208	23.0	239	26.5	42	4.7
50代	279	36.2	64	8.3	224	29.1	35	4.5	152	19.7	190	24.7	20	2.6
60代～	61	37.4	13	8.0	56	34.3	9	5.5	31	19.0	31	19.0	5	3.1
合計	1218	35.1	588	17.0	549	15.8	109	3.1	740	21.3	1017	29.3	141	4.1

9、特別設問―裁判員として依頼があったら？

便乗して、上記の問いかけを行いました。「出来れば断りたい」が38.2%で最も多く、「引き受けて役割を果たしたい」は27.6%に止まっています。特に女性では「断りたい」が50.4%と過半数を超え、「絶対に断る」を含めると63.0%に及びます。また、「勤務先の理解が得られたら引き受ける」が23.1%もあり、この点でも企業の社会的責任・貢献は問われることになりそうです。これを年代別にみると、20代、30代の若年層で「役割を果たしたい」が高く、高齢者で「断りたい」が非常に高いものになっています。職業による差異をみると、製造業、運輸・通信業では「役割果たしたい」「勤務先の理解得られたら」の引き受け派が58.4%、52.0%と5割を超えているのに対し他の業種では半数に達しません。公務員、卸・小売業、サービス業では「絶対に断る」が2ケタを占めます。

表-27 裁判員として依頼されたら引き受けるか（性別）

	役割果たしたい		勤務先の理解		断りたい		絶対に断る		その他	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
男性	803	33.5	585	24.4	797	33.2	181	7.6	23	1.0
女性	123	12.8	190	19.7	486	50.4	121	12.6	28	2.9
合計	957	27.6	800	23.1	1323	38.2	311	9.0	52	1.5

表-28 裁判員として依頼されたら引き受けるか（年代別）

	役割果たしたい		勤務先の理解		断りたい		絶対に断る		その他	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
10代	8	20.5	8	20.5	14	35.9	7	17.9	2	5.1
20代	158	30.2	165	31.5	151	28.9	42	8.0	6	1.1
30代	334	32.0	281	26.9	344	33.0	65	6.2	13	1.2
40代	241	26.7	211	23.4	343	38.0	86	9.5	14	1.6
50代	170	22.1	113	14.7	379	49.2	85	11.0	15	1.9
60代～	36	22.1	19	11.7	81	49.7	26	16.0	1	0.6
合計	957	27.6	800	23.1	1323	38.2	311	9.0	52	1.5

表-29 裁判員として依頼されたら引き受けるか（職業別）

	役割果たしたい		勤務先の理解		断りたい		絶対に断る		その他	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
公務員	144	27.6	113	21.7	202	38.8	52	10.0	5	1.0
製造業	338	29.9	322	28.5	378	33.4	78	6.9	12	1.1
卸・小売業	29	20.1	23	16.0	73	50.7	16	11.1	2	1.4
運輸・通信業	181	29.7	136	22.3	227	37.2	60	9.8	6	1.0
サービス業	99	20.6	82	17.0	228	47.4	56	11.7	10	2.1
福祉・医療	7	18.4	9	23.7	16	42.1	3	7.9	2	5.3
その他	129	31.9	89	22.0	142	35.1	32	7.9	9	2.2
合計	957	27.6	800	23.1	1323	38.2	311	9.0	52	1.5

勤労者と地域コミュニティとの関わりについてのアンケート調査

2008年11月 (社) 京都勤労者学園

このアンケートは、職場で働く勤労者の皆さんを対象に、労働組合を通じてお願いし、その結果は、広く労働組合や市民団体の活動、行政などに供するものです。ご協力をお願いします。(各問、該当する番号を選んで○で囲んで下さい)

あなたの性別 ①男性 ②女性

あなたの年齢 ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代
⑥60代以上

あなたの就業形態 ①正規社員 ②非正規社員

あなたの職業 ①公務員 ②製造業 ③卸・小売業 ④運輸・通信業
⑤サービス業 ⑥福祉・医療 ⑦その他

あなたの居住地 京都市内 宇治市 城陽市 向日市 長岡京市 亀岡市
その他の京都市内 大坂府 滋賀県 兵庫県 その他

問1 あなたが現在の居住地に住んだのはいつ頃からです。

① 自分の代から
② 親の代から
③ 祖父母、もしくはそれ以前から
④ その他

問2 あなたと同居している方は。(複数回答可)

① なし ⑤ 親
② 配偶者 ⑥ 祖父母
③ 子供 ⑦ 兄弟姉妹
④ 孫 ⑧ その他

問3 あなたは現在の居住地についてどう感じていますか。

① 現在の居住地に満足したい
② 近隣の地域で今の住宅に移りたい
③ 出来れば他の地域に移りたい
④ 元のことはわからない
⑤ その他

問4 問3で②、③と答えられた方、その理由は。

① 住宅事情
② 移りたい他の地域がある
③ 現在の地域での付き合い等が苦痛
④ 独立したい
⑤ その他

問5 地域との関わり合いについて。

① できるだけ(積極的に)地域の行事に参加している
② 自分では参加できないが家族の者が積極的に参加している
③ 輪番のため仕方なく参加している
④ 余り参加しない
⑤ 一切参加しない
⑥ その他

問6 町内会(管理組合・自治会含む)との関わりについて。

① 町内会に入り自分が役もしている・したことがある
② 町内会に入り、家族の者が役をしている・したことがある
③ 町内会に入っているが役は断っている
④ 町内会に入っていない
⑤ 町内会がない
⑥ その他

問7 あなた、及びあなたの家族の方が現在関わっておられるものは。(複数回答可)

① 町内会年中行事
② 消防団・防火活動
③ 老人会
④ 女社(地域女性連合会)
⑤ 保育園・学校などの保護者会参加・運営支援活動

⑥ 体育振興会
⑦ スポーツ・趣味のサークルなど
⑧ 各種の地域ボランティア
⑨ 市町村などの市民モニター・市民委員
⑩ その他

問8 あなたが、地域の活動で今後関わりたいものは。(複数回答可)

① 町内会年中行事
② 消防団・防火活動
③ 老人会
④ 女社(地域女性連合会)
⑤ 保育園・学校などの保護者会や運営支援活動
⑥ スポーツ・趣味のサークルなど
⑦ 各種の地域ボランティア
⑧ 町づくりや地域イベント
⑨ 市町村などの市民モニター・市民委員
⑩ 関わりたいものがわからない
⑪ 地域活動にかかわりたいとは思わない
⑫ その他

問9 地域の活動に参加する上で障壁になっていることは。

① 活動参加の時間を確保しにくい
② 活動参加の休日が取れない
③ 人間関係がうまくいかない
④ 情報が少ない
⑤ その他

問10 地域の活動に参加する上で必要と思う点は。(複数回答可)

① 地域活動参加の啓蒙・促進
② 企業における地域活動休暇やボランティア休暇
③ 個人情報管理
④ 活動情報や内容についての周知徹底
⑤ その他

問11 地域の情報についてどのようにして入手していますか。(複数回答可)

① 回覧板
② 区からの会報や、行政の通信(府民だより・市民しんぶん等)
③ 新聞・雑誌
④ インターネット
⑤ チラシ・ポスター
⑥ 近所や友人からの口コミ
⑦ その他

問12 あなたが希望する地域で今後充実させたい施設は。

① 病院・専門医療
② 保育園・児童館・学童保育所
③ 介護施設・老人ホーム
④ 障害者自立支援施設
⑤ 憩いの場所(集会所・公園など)
⑥ 図書館やスポーツ文化施設
⑦ その他

問13 裁判員として依頼があったら引き受けますか。

① 引き受けて役割を果たしたい
② 勤務先の理解が得られたら引き受ける
③ 出来れば断りたい
④ 絶対に断る
⑤ その他